

平成 23 年 5 月 25 日

日本ジェネリック製薬協会

お知らせ

平成 23 年 5 月 24 日に開催されました、当協会の第 44 回定期総会におきまして、新役員の選出がありましたので、新役員一覧と、会長再選のご挨拶をご案内申し上げます。

[問い合わせ先]  
日本ジェネリック製薬協会  
理事長 長野 健一  
電話 03-3241-2985

日本ジェネリック製薬協会 新役員一覧

平成 23 年 5 月 24 日定期総会選出

会 長	澤井弘行	沢井製薬株式会社
副 会 長	渡辺健二	共和薬品工業株式会社
”	吉田逸郎	東和薬品株式会社
常任理事	高田茂樹	高田製薬株式会社 (新任・前理事)
”	田村友一	日医工株式会社
”	佐藤 誠	ニプロファーマ株式会社
理 事	大原誠司	大原薬品工業株式会社
”	小林広幸	小林化工株式会社 (新任)
”	井元健一	大正薬品工業株式会社 (前常任理事)
”	黒崎昌俊	辰巳化学株式会社
”	大石俊樹	日新製薬株式会社
”	下村健三	株式会社陽進堂
監 事	荻原 茂	キョーリンリメディオ株式会社
”	稲岡靖規	株式会社ポーラファルマ

敬称略  
無印再任

## 会長再選のご挨拶

平成 23 年 5 月 25 日  
日本ジェネリック製薬協会  
会長 澤井 弘行

平素より当協会の事業にご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度の東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

被災地の 1 日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、平成 23 年 5 月 24 日に開催されました第 44 回通常総会におきまして、会長に再選されましたので、ご挨拶を兼ねましてご報告申し上げます。

本年 5 月で 2 期 4 年会長を務めてきましたが、ジェネリック医薬品の数量シェア 30%達成の期限が迫っていること、IGPA 総会の日本開催が来年に控えていること等に鑑み、引き続きこれらの課題を全うすべきとの声に押されて、さらにもう 1 期お引き受けすることといたしました。

御承知の通り、政府は 2007 年、少子高齢化を背景に高騰する医療費の抑制と患者負担の軽減を図るため、品質や有効性は先発医薬品と同等で、低価格のジェネリック医薬品の使用を促進し、数量シェアを 2012 年度までに当時の約 17%から 30%に延ばすという閣議決定がされました。

これを受けて、厚生労働省では、「後発医薬品の安心使用促進アクションプログラム」を策定し、ジェネリック医薬品企業の取り組むべき課題や、政府の広報啓発活動、医療保険制度上の使用促進等の方針を示し、ジェネリック医薬品の使用促進を図ってこられました。

当協会におきましても、このアクションプログラムに示された課題の達成に向け努力するとともに、さらなる取り組みとして、「ジェネリック医薬品情報提供システム」の構築、積極的な広報啓発活動等を展開してきました。

こうした官民の取り組みもあって、平成 22 年 12 月末時点のジェネリック医薬品の数量シェアは、23%を超えるまでになりました。

しかしながら、目標達成の期限まであと 2 年に満たない時期に来ており、政府目標の 30%を達成するにはさらなる努力が必要です。これからの会長任期の 2 年は、総仕上げの大切な時期でもあり、この目標達成に向けてさらに一層の使用促進に傾注してまいります。

また、東日本大震災の被害による国難の時期において、ジェネリック医薬品が少しでも復興にお役に立てられるよう誠心誠意努力するとともに、ジェネリック製薬業界一丸となって節電に努める等、1 日も早い復興に協力してまいりたいと考えております。

この度の通常総会における会長再選に望み、このような使命感に立って日本ジェネリック製薬協会を運営してまいりますので、今後とも引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。